

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.02.20~02.24

記事の詳細は、情報検索サービス
『キジサク』でご覧になれます。

*記事は東京発行・最終版

CHINA

2月20日(月)

レアース不要モーター量産

日本電産/中国など

日本電産は、レアースを使わない可変磁気抵抗モーターの世界での量産体制を2015年ごろまでに整備する。2000億3000億円投資。EV、HV向け。中国、ポーランド、メキシコで量産。(1面)

京二、上海現法を増資

機械工具/信用力高める

京二是、上海市の現地法人「京二(上海)機電科技」の資金を、現在の1500万円から5月をめどに5000万円に増資する。現地日系工場などに機械工具を拡販するうえで、信用力を高める。(7面)

富士通BSC、中国合弁

奇瑞汽車/車両向け組み込みソフト

富士通ビー・エス・シーは、中国自動車メーカーの奇瑞汽車グループと、自動車向け組み込みソフトウエア開発などのIT関連業務を担う合弁会社「智行科技」を設立した。(10面)

脅威の国 - 中国が7割

2位インド/3位韓国

日本経済にとって脅威となる国を尋ねたところ、中国と答えた企業が68.4%で



1位になった。2位インド(25.1%)、3位韓国(10.5%)だった。マンパワー・グループが1004社に調査。(18面)

2月21日(火)

パナソニック、中国生産車載用キャバシター/年400万台

パナソニックは、広東省の工場で環境対応車向けインバータ用フィルムキャバシターを2014年から生産する。2015年度に400万台を目指す。現在、富山の工

場はフル稼働。(3面)

ヨコオ、環境対応で専門部署

中国3拠点統括/規制の変更対応

ヨコオは、4月に中国の3拠点を統括する環境関連の専門部署を現地に新設する。中国での環境規制強化の動きに対応するのが狙い。現地の環境規制の変更や追加に迅速に対応。(3面)

現地製旋盤で増産投資を半減

正田製作所/シャフト部品

正田製作所は、2012年内に中国で現地

メーカー製のNC旋盤を導入、投資を従来の2分の1に抑えて自動車用ステアリング向けシャフト部品の生産能力を増強。年産1割増の330万個体制。(5面)

ディスコ、第10サポート拠点

ウエハーアクション装置/大連・惠州に新設

ディスコは、ダイサー(ウエハーアクション装置)などの精密加工装置や加工ツールの販売、保守点検のためのサポート拠点を、中国の大連と惠州に開設した。中国のサポート拠点は10カ所目。(7面)

2月22日(水)

日立造船、ゴミ焼却設備を受注

上海市/日量2000トン

日立造船は、上海黎明資源再利用から大型ゴミ焼却炉の設備工事を受注した。大規模処理に適したストーカー式で、処理能力は1日当たり2000t。技術サービスも提供する。(6面)

帝国電機、2営業所を新設

天津市/昆明市/完全無漏洩ポンプ

帝国電機製作所は、3月中をめどに天津市と雲南省昆明市に営業所を新設する。完全無漏洩ポンプ(キャンドモーター・ポンプ)の現地需要に応える。中国の営業所は21拠点目になる。(6面)

TIS、天津DCのラック倍増

800/現地IT・金融系需要

TISは、現地法人を通じて運営する天津のデータセンターを増床する。サー

シヤで販売金融事業を営む丸紅の関連会社に対し、総額6000万ドル(約47億4000万円)の協調融資を実行した。建設機械や自動車の需要が伸長。(23面)

堀田電機、アジア展開

銅加工/生産管理システム

堀田電機製作所は、主力の銅加工や生産管理システム開発のアジア展開に乗出する。タイ・バンコクに現地法人を設立、年内に生産管理システムの開発に着手。銅加工は夏をめどに設立。(29面)

ベトナムに上下水道整備研修

JICA・関経連など

国際協力機構大阪国際センター、関西経済連合会などは、26日からベトナムの上級行政官を対象にした上下水道整備に関する研修を実施する。44人が来日、上下水と下水を一体的に研修。(33面)

タイで小径ドリルの量産

イワタツール/月産1万5000本

イワタツールは、5月をめどにタイで小径ドリルの量産を始める。アジア向け特殊工具や標準工具で、月間生産量は1万5000本。また現地に新工場を建設し、2013年春に増産体制。(7面)

サカタインクス、2新工場

ベトナム・インド/生産能力2倍

サカタインクスは、ベトナムとインドで、2015年3月までにインク生産能力を増強する。ベトナムは第2工場を新設。インドには新棟。新聞向けなど生産能力を2倍以上に。(12面)

マレーシア教育センター始動

トクヤマ/新工場の従業員育成

トクヤマは、太陽電池用多結晶シリコンの大型工場を建設中のマレーシアで、国内と同規模の教育センターを移転した。新工場で働く現地採用の従業員を育成する。(12面)

光洋産業、ベトナム生産

木材用接着剤月200t/食品安全容器50t

光洋産業は、ベトナムで接着剤などを生産する現地法人を設立し6月稼働。月産能力は木材用接着剤が200t、プラスチック製食品安全容器が50t。ベトナムには木製家具の工場が集中。(12面)

山九、ベトナムに2事務所

ダナン・フエ/中部地区の日系向け

山九は、現地法人がベトナム中部の都市ダナンとフエにそれぞれ事務所を開設した。ダナン港、空港発着のウォーディング業務や中部地区進出の日系企業の作業に対応する。(14面)

丸紅の合併に47億円融資

インドネシア/みずほコーポ銀

みずほコーポレート銀行は、インドネ

シヤで販売金融事業を営む丸紅の関連会社に対し、総額6000万ドル(約47億4000万円)の協調融資を実行した。建設機械や自動車の需要が伸長。(23面)

堀田電機、アジア展開

銅加工/生産管理システム

堀田電機製作所は、主力の銅加工や生産管理システム開発のアジア展開に乗出する。タイ・バンコクに現地法人を設立、年内に生産管理システムの開発に着手。銅加工は夏をめどに設立。(29面)

ベトナムに上下水道整備研修

JICA・関経連など

国際協力機構大阪国際センター、関西経済連合会などは、26日からベトナムの上級行政官を対象にした上下水道整備に関する研修を実施する。44人が来日、上下水と下水を一体的に研修。(33面)

ホンダ、インドの2輪販売拡充

地方・農村部に軸/3000店体制

ホンダは、インドの2輪車事業で、地方や農村部で販売店網を拡充する。ニーズの高いエンジン排気量100ccクラスの2輪車を拡販する。4倍弱増の3000店体制を構築する。(5面)

杉本金属、タイでプレス部品

まず家電/自動車部品も

杉本金属工業は、3月上旬にタイでプレス部品の生産を始める。タイの家電メーカー・SNCフォーマーと合弁で、まずエアコンなど家電向けを生産する。日系向け自動車部品も。(5面)

マレーシアでAT生産

ダイハツ/現地生産化

ダイハツ工業は、マレーシアに自動変速機の生産子会社「明石機械マレーシア」を設立した。現地生産でコスト競争力を強化。将来は主要拠点のインドネシアへの輸出も想定。(5面)

タイ・印・中で事業化調査

旭精機工業/小型プレス機

旭精機工業は、小型のトランスマスター・プレス機の海外展開で、中国やタイ、インドなどに2013年3月期に事業化調査。

伸びるか韓国DC

BCP見直し需要狙う

大手IT事業者が、韓国のデータセンター(DC)の活用に相次いで乗り出している。電気代の安さや地震の少なさなどを訴求し、顧客のBCP見直し需要を取り込むのが狙い。(11面)

韓国SK、BDO製造合弁

シノベックと折半

韓国SKグループは、中国石油化工(シノベック)と合成繊維の重要な原料であるブタンジオール(BDO)を製造する折半出資の合弁会社の設立で合意した。37

ヤ放電加工機の世界戦略機「MVシリーズ」を、日本と中国で同時に生産を開始する。新興国をはじめ金型や部品加工の微細化、高精度化ニーズに対応。(6面)

瀋陽の新工場開業

北川鉄工所/油圧チャック

北川鉄工所は、瀋陽市の工作機械向け油圧チャックの新工場を開業した。延べ床面積2793平方メートルで、量産品を手がける。日系工作機械メーカーなどの現地調達ニーズに対応する。(6面)

上海に技術センター開設

バンドー化学/技術情報を収集

バンドー化学は、バンドーマニュアルチャーリング上海に技術センター「バンドー中国技術中心」を開設した。海外技術拠点は初めて。伝動ベルトや工業製品などの技術情報を収集。(7面)

ひと

思い通りにはいかない

「将来は中国に特化したカウンセリング用の化粧品開発機器を開発していかなければ」と、モリテックス社長の松岡昇さん。「いくら説明しても、我々の思い通りにはいかないことがあるから」機能や価格、サービス体制も含め、現地のニーズをくみ上げる。(20日=15面)

億元(5億8800万ドル)投資。(時事=13面)

チーズ製販でインドネシア合弁

雪印メグミルクと伊藤忠

雪印メグミルクと伊藤忠商事は、インドネシアのロダマスと合弁で、インドネシアにプロセスチーズの製造・販売会社を設立する。雪印の技術とロダマスの販売、伊藤忠の原料調達力を融合。(15面)

東大がインド事務所

日本の大学に留学生呼び込む

東京大学はインド・ベンガルール市に「東京大学インド事務所」を開設する。日本政府の推進事業の一環で、海外大学共同利用事務所。日本の大学にインド人留学生を呼びたための情報提供。(21面)

ひと

追撃の「のろし」

「インドネシアの2輪車市場では電子制御式燃料噴射装置をめぐる技術競争と、販売・マーケティング活動の高付加価値化がポイントになる」と話すのはヤマハ発動機社長の柳弘之さん。「もともとあつたシェアを取り戻す計画」と、ホンダ追撃の「のろし」を上げる。(20日=6面)

タイ洪水

帝人、出荷を再開

工業用繊維/シートベルトなど

帝人は、洪水被害を受け操業を停止していたティジン・ボリエスティル(タイランド)の一部生産を再開した。シートベルトなど工業用繊維を生産し、洪水被害後初めて出荷した。(20日=11面)

住友ベーク、タイ閉鎖

半導体キャリアテープ

住友ベークライトは、洪水で生産停止中の半導体実装用搬送材料(キャリアテープ)の生産拠点を閉鎖する。今後はシンガポールから供給する考え。順次、顧客から認証取得する。(22日=1面)

東芝、エアコン生産再開

10拠点のうち7拠点が再開

東芝は、グループ企業の東芝キヤリアのタイ工場が操業を再開した。同工場は小型エアコンを生産している。洪水で操業停止となつたグループ10拠点のうち7拠点が再開した。(22日=9面)

ASIA

2月20日(月)

パナソニック・協栄会が解散

調達本部機能、シンガポールに移転

パナソニックと取引のある中小製造業で組織するパナソニック・協栄会が3月末で解散する。パナソニックが4月に調達、物流の本部機能をシンガポールに移転、調達構造を変える。(1面)

「小売り進出」3本のキー

ASEAN市場攻略

ASEANの消費市場が急速に拡大。小売り各社の現地進出も本格化する中、ASEANビジネス成功のカギを握るのは①パートナーの選定②市場ニーズの把握③外資規制への対応。(18面)

FUKU、中韓で調達進む